

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート

② 施設・事業所情報

名称：十日市場南こども園	種別：認可保育所	
代表者氏名：園長 菅原沙織	定員（利用人数）：60名	
所在地：〒226-0025 神奈川県横浜市緑区十日市場町849番地6 アドバンス第5 1F		
TEL：045-984-0756	ホームページ： http://kodomonomori.co.jp/t2/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2011年 4月 1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社こどもの森		
職員数	常勤職員：12名	非常勤職員：3名
専門職員	（専門職の名称） 名	
	保育士 11名	
	栄養士 1名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室・ほふく室 2	空調設備
	保育室・遊戯室 2	幼児用トイレ・多目的トイレ
	事務室・医務室 1	シャワー
	調理室 1	

③ 理念・基本方針

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1, 基本的な生活習慣を身に着け、健やかな成長を培う 2, 遊びや生活を通して人とのかかわりを多くもち、豊かな心情や人を大切にする心を育む 3, 様々な経験を通して豊かな感性や想像力を育む 4, 生活の中で言葉をよく聞き、よく話す環境を作り、言葉への興味や関心を育む 5, 自分の子どもを入れたい園にする |
|--|

④ 施設・事業所の特徴的な取組

運営法人は、株式会社こどもの森で、2011年4月1日に開所した認可保育所です。

建物の補修や改善が必要となったことから、2022年4月、最寄駅近くに移転することを決めています。

現園舎は、最寄駅のJR横浜線十日市場駅から徒歩10分ほどの建物の1階にあり、周辺には公園も多く、晴れた日は戸外散歩を楽しむことができます。

園の特徴的な取り組みとして、以下の取り組みが挙げられます。

保育の目標を「挨拶ができる子・心身ともに健康な子・思いやりのある子・ルールを守れる子」としています。子どもは素足で元気に過ごしています。

野菜の種を買いに出かけ、その種を蒔いて栽培しています。

月々の誕生日会をはじめ、遠足、運動会、作品展など様々な行事を楽しんでいます。保護者参加型行事は平日開催を避け、必要に応じ外部施設を借用して開催しています。

保護者の負担を減らすよう、家庭から持参する物や持ち帰る物を少なくしています。また、おむつや尻ふきなどは持参不要としています（有料）。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年7月28日（契約日）～ 2022年3月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2013、2016年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

○ 実行計画表を作成し、重点項目の確実な実行に取り組んでいます【関連評価項目 I-3-(2)-①】

年度重点方針「①コミュニケーションをとる機会を設ける ②保育スキルの向上 ③環境整備を徹底する」に従って、目標を定め、月ごとにテーマ、担当者、責任者を決めて実施し、反省や達成した数値をもとに評価しています。例えば、重点方針の「②保育のスキルの向上」ではアレルギーについての勉強会をする、「③環境整備を徹底する」では壁・雑巾がけ・汚れ取りをテーマとし、できた・できなかった及び所感を記載し、全員が所定の評価基準で評価し、毎月「実行計画達成状況報告書」にまとめています。年度末に1年間を振り返り、その結果を次年度につなげるなど保育の質を高める活動に取り組んでいます。

○ 保育園での活動を通して子どもの心身の発達を図っています【関連評価項目A-1-(2)-②】

新型コロナ禍のもとでも様々な工夫を凝らしながら保育を実践しています。お泊り会やバス遠足、運動会など楽しい行事を企画し、実施しています。迎えに来た保護者に子どもが「まだいたかった。」と言うくらい楽しく過ごしています。給食では、0～5歳児の年齢ごとに毎年「食育年間指導計画」を立てています。0歳児は手づかみとスプーンで食べる、1歳児はみんなと一緒に食べる、4歳児はクリスマスや外国の文化に触れる食事、5歳児は夏野菜などを栽培育てた野菜を食べる、食事のマナー身につけて楽しく食べるなど、子どもは一日一日成長しています。

◇改善を求められる点

○ 中・長期計画と年度事業計画には連続性のある計画作りが期待されます。【関連評価項目 I-3-(1)-②】

現行の中・長期計画には10年後の目指す姿が示され、各年度の目標は見られるものの数値目標や行動計画は織り込まれていません。一方、年度事業計画には中・長期計画に示された目標や行動計画は記載されておらず、連続性を確認することができません。現状、園は中・長期計画に示された目標の実行計画を作成し、取り組み、毎月振り返りや自己評価を行っています。各計画の実効性を確保する観点から、中・長期計画の各年度の数値目標と行動計画を年度事業計画の数値目標と行動計画とに連続性を持たせた計画を作成し、達成に取り組むことが必要と考えられ、今後、速やかに一貫性のある体系的な計画作りに取り組むことが期待されます。

○ 保護者との連携を深めるため、子どもの活動の様子を伝え共有する、さらなる工夫が期待されます【関連評価項目A-2-(1)-①】

一昨年から新型コロナ禍で、子どもの活動が制限されています。そうした状況のなかで、日常の保育や行事などは様々な工夫を凝らして実施しています。前年度末の利用者懇談会はリモートで実施しました。運動会の様子を3歳はダンス、4歳は鉄棒、5歳は跳び箱・乳児は日常生活の中でのリズム体操・ダンスなどを保護者に動画で配信しています。また、6月より、クラスだよりに子どもの写真を載せ、玄関にフォトフレームを設置し、日常の子どもの様子を写真で見られるようにしました。今回の利用者調査では、「昨年は園の中に入れなかったので園の中の様子がわからない」という意見がありました。保護者の子どもの保育園で生活する姿を知りたいという気持ちに沿った、さらなる工夫が期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

保護者の皆様には、ご多忙中にもかかわらず調査にご協力いただき感謝申し上げます。

第三者評価を受審することで、今後更に伸ばしていく点、改善すべき点等新たな気づきや課題を得られる良い機会となりました。保護者の皆様からのご意見を真摯に受け止め今後のサービス改善に生かしてまいります。

一昨年よりコロナ禍での保育となり、昨年度は行事の日程変更や中止、規模を縮小しての実施が多く園内の様子を十分に伝えられないことがありました。今年度は社会状況を見ながらでしたが少しずつ行事を再開していきましたが、更なる保護者の気持ちに沿った工夫をしていきます。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり